

まち・ひと・しごと創生事業 平成30年度の各実績評価シート(指標一覧)の主な記載事項は以下の通りとなっています。

		記入内容
基本目標		基本目標を記入。
数値目標		数値目標を記入。
設定根拠		総合戦略の資料編に記載した設定根拠を記入。
従前値		基準年度における値を記入。
指標の方向性		指標が目指す方向性(増加または減少)を表示 上向き ……現在100のものを200にする 下向き ……現在不満が50%のものを30%に下げる
H29実績値		平成29年度(前年度)の実績値
H30目標値		現行総合戦略における平成30年度(今年度)の目標値
H30実績値		数値が確定していない場合は、冒頭に「推」と記載(注)
最終目標値		計画終了時点(H31年度)における目標値を記載
進捗状況		今年度末における指標の達成状況について、4段階で自己評価。 <b>順調</b> : H30年度の目標を達成し、かつ目標を大幅に(120%程度)上回っている又は総合評価がB以上のもの <b>概ね順調</b> : H30年度の目標を達成している、又は達成していない場合でも達成と同等と見なせる特段の理由がある <b>やや遅れ</b> : H30年度の目標を達成していない <b>遅れ</b> : H30年度の目標を達成しておらず、かつ基準年度より悪化している
評価	有効性	<b>高</b> : 成果が向上(高水準を維持)している <b>中</b> : 適切な成果が得られている <b>低</b> : 成果が低下(低水準を維持)している から選択。
	効率性	<b>高</b> : 費用対効果が向上(高水準を維持)している <b>中</b> : 適切な費用対効果が得られている <b>低</b> : 費用対効果が低下(低水準を維持)している から選択。
	総合評価	有効性高・効率性高 ……S: 成果・費用対効果を維持して継続実施 有効性高・効率性中 ……A: 成果を維持して継続実施 有効性中・効率性高 ……A: 費用対効果を維持して継続実施 有効性中・効率性中 ……B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施 有効性高・効率性低 ……C: 成果を維持し費用対効果を向上させる必要有り 有効性低・効率性高 ……C: 費用対効果を維持し成果を向上させる必要有り 有効性中・効率性低 ……D: 費用対効果を向上させる必要有り 有効性低・効率性中 ……D: 成果を向上させる必要有り 有効性低・効率性低 ……E: 事業の抜本的な見直し(縮小・廃止)の必要有り から選択。
効果発現要因(効果)		指標がプラス又はマイナスに働いた要因や理由等を記入。

(注)未測定 of 指標について

指標の一部については、隔年で実施する「市民意識調査」の結果を測定指標としているものがあります。直近の市民意識調査は平成29年度に実施し、次回は平成31年度夏を予定していることから、当該指標については未測定となっており、平成30年度の事業実施状況に基づき記載するとともに、平成31年度に調査実施を踏まえて評価がなされる予定です。